

【伊藤総領事メッセージ 2019年12月】

2019年、総領事館は、日本とオンタリオ州との関係を政治・経済・文化の各分野において強化するために様々な取組を行い、たくさんの行事で盛り上がりました。

日本では5月に新しい天皇陛下が御即位され、「beautiful harmony」を意味する「令和」の御代が始まりました。トロントでは、1959年にハイパークの桜が東京都民からトロント市民へ贈られて60周年となりました。新天皇陛下御即位と桜寄贈60周年を祝うため、ハイパークで今回新たに6本の桜の植樹を行いました。



また、当地の政治家、経済人、文化人、在留邦人、日系企業関係者、JET・国費留学生OB、当地領事団等の賓客を公邸にお呼びし、天皇陛下御即位祝賀及びハイパーク桜寄贈60周年記念のためのレセプションを開催しました。

2019年は、カナダが日本に公使館を設置して90周年目でした。オンタリオ州でも、強固に発展してきた日・オンタリオ州関係を祝うレセプションが6月4日に州議事堂内で盛大に開催されたことを含め、様々な記念行事が開催されました。

特筆すべきは、この90周年を記念して、憲仁親王妃久子殿下がカナダを訪問されたことです。高円宮家は、かつて高円宮殿下がキングストンのクイーンズ大学に留学されて以来、カナダと深いつながりをお持ちです。トロントは最初のお立ち寄りの地であり、高円宮妃殿下は、毎年8月にミシサガ市で開催されているジャパン・フェスティバルの開会式に御臨席されたほか、王立オンタリオ博物館で開催された日加90周年記念ガラ・ディナーで基調講演もなされました。妃殿下のためにドズウェル・オンタリオ州副総督が主催された昼食会では、妃殿下は、オンタリオ州で日本の自治体と姉妹関係を有している自治体や交流団体の代表とお言葉を交わされました。



日本とオンタリオ州の地方自治体交流といえば、今年は、東京都板橋区とバーリントン市との姉妹都市提携30周年であり、7月、区長率いる板橋区代表団が同市を訪問し、記念式典が行われ、「板橋ガーデン」がオープンしました。また、リンゼイ（カワサレイク市）と北海道名寄市との



姉妹都市提携が今年で50周年であり、7月に名寄市で行われた記念行事には私も出席してきました。また、10月にはトロント市と提携している相模原市の市長がトロントを訪問し、11月にはコリングウッド町長が訪日しました。オンタリオ州と日本との間でこれほどもの草の根交流が続けられていることをうれしく思います。

2019年は、日本で様々な国際的なイベントが開催されました。6月、日本は議長国としてG20を大阪で開催しましたが、トロントにおいてはトロント大学日本研究センターでシンポジウムが開催され、G20への展望について議論が行われました。3月には、9月から11月に日本で開催されるアジア初のラグビー世界杯のため公邸においてレセプションを開始し、PRを行いました。



2020年にはいよいよ東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。当地GTAにおいても、BMX自由形・カナダ選手権やトロント・ウォーターフロント・マラソンなど、オリンピック出場選手の選考に重要な大会が開催され、機運が盛り上がっています。私のような大会に出席したり、州内各地で当館館員が「東京五輪音頭」を披露したりして、東京オリンピック・パラリンピックに向けて盛り上げています。



日本からのオンタリオ州への輸出促進のため、日本酒と和食及び洋食とのペアリングを紹介するイベントや公邸料理人による和食デモンストレーションを開催しました。カナダの方々に日本食と日本の魅力を発信できたものと自負しています。来年の東京オリンピック・パラリンピックを好機ととらえ、日本産品

の輸出を含め、日本とオンタリオ州との経済関係の強化に一層取り組んでまいります。

文化面に目を向ければ、今年も日加90周年を記念した文化行事が数多く開催されました。11



月から12月にかけて、寄席（落語、紙切り、太神楽）、シネマ歌舞伎及び狂言



と、日本の伝統芸能が披露され、カナダの方々が最高のパフォーマンスを堪能できる貴重な機会となりました。

本年、このような様々な取組を行うことができたのは、ひとえに、皆様の御協力のおかげと感謝いたします。2020年も、令和—beautiful harmony—の精神の下で、皆様と引き続き仕事をさせていただくことを楽しみにしております。楽しい年末年始をお迎えください。